

海の幸ゆたかな海、はまなす咲く浜、開拓の汗がしみこむ大地を、軍靴で汚すな！

浜大樹通信

NO.25 2006/6/16 「浜大樹上陸訓練反対十勝連絡会」

事務所：帯広市東 11 南 9 (労連十勝ブロック)

Tel.0155-25-5081: FAX.0155-27-2080

大樹安保/道労連十勝ブロック/帯広安保/帯広民商/帯広原水協
帯広平和委/日本共産党十勝地区委/新婦人帯広

訓練の概要判明

・道安保から 14 日夜 FAX が入りました

平成 18 年度協同転地演習の概要について(H18/6/5 陸幕広報室)

1 目的

転地演習を実施し、主として輸送の場を活用した海上自衛隊及び航空自衛隊との協同連携要領を演練して、各方面隊の即応性の向上を図る。

2 協同転地演習の区分

- (1) 中部方面区から北部方面区への転地(以下「北方転地」という)
- (2) 北部方面区及び東北方面区から東部方面区への転地(以下「南方転地」という)
南方転地については実施時期により第 1 次から第 3 次に区分

3 北方転地

- (1) 時期 平成 18 年 6 月 19 日(月)から 8 月 11 日(金) 6/19 移動開始 7/4-23 矢臼別演習場
- (2) 場所 中部方面区～北部方面区(矢臼別演習場)
- (3) 担任官 中部方面総監 陸将 折木 良一 第 13 旅団(本部:広島県海田町)
- (4) 演習の概要

- ・演習区分 北方転地
- ・長距離機動 往路 6 月 19 日～7 月 3 日
帰路 7 月 24 日～8 月 11 日
- ・演習場における練成訓練 7 月 4 日～7 月 23 日(旅団規模の演習等/長射程射撃訓練)
- ・訓練部隊 第 13 旅団基幹/人員:約 2,000 名/車両:約 650 両/火砲:10 門/戦車:10 両/航空機 17 機
ヘリ 2 機
- ・その他

陸上自衛隊から輸送艦 1 隻、航空自衛隊から戦闘機、輸送機等延べ数十機が、それぞれ参加する

4 機動要領

- (1) 陸上機動: 自隊車両、鉄道(北方転地のみ)
- (2) 海上機動: 海自輸送艦(おおすみ)、民間船舶
- (3) 空中機動: 陸自航空機(CH-47 等)、空自輸送機(C-1)、民間航空機(北方転地のみ)

5 その他

他方面区演習として昭和 48 年に始まり、昭和 52 年から北方(矢臼別演習場を使用)、昭和 61 年から北方機動特別演習として一昨年まで継続し、昨年からは協同転地演習として実施している。

民間船舶は、舞鶴・新潟港から小樽港/名古屋・仙台・敦賀港から苫小牧港

民間航空機は、広島空港から新千歳空港

第五旅団申し入れ

6 月 19 日(月)午後 4 時

- ・稲葉市議を通して打診していた「申し入れ」が、19 日(月)午後 4 時からに決まりました。事前に、午後 3 時 30 分、共産党十勝地区委員会の事務所に集合し、出かけます。参加者を準備して下さい。
- ・第五旅団小椋広報班長との打ち合わせとなります。
- ・大樹からの連絡で始まった今年の準備。新聞報道は、まだありません。